

心に残る文化財子ども塾 出雲市立湖陵小学校

1. 活動の概要

5月29日(金)、出雲市立湖陵小学校に伺いました。湖陵町の遺跡と古代の人びとの生活について学びました。はじめに湖陵町の遺跡について話を聞き、その後、実際に湖陵町から出土した土器に触れました。本物の土器を前にして、みんな興味深そうに観察し、職員への質問も多く出ました。

次に、場所を移動して勾玉づくりを行いました。完成図を下書きしてからはじめるのですが、棒ヤスリで削るのが思った以上に大変だったようで、思った形にするのに時間がかかりました。サンドペーパーで磨いていくと輝きが出始め、みんな夢中になって磨いていました。勾玉を作る大変さを知ると同時に、古代の人びとの技術の高さを学びました。

2. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- ・昔の神西湖(神門の水海)は広がった。
- ・三部の遺跡について知りたい。
- ・矢じりの見つかったところに言ってみたい。
- ・出雲市の遺跡を調べたい。
- ・他の土器や、矢じりについて知りたい。
- ・土器などいろいろ作ってみたい。

② 担任の先生から

- ・土器など、レプリカではなく本物に触れることが出来ました。
- ・勾玉を一人一人が作りながら、古代の暮らしを体感できました。

③ 古代出雲歴史博物館から

湖陵町の遺跡に触れるということで、出雲市文化財課から遺物を借りることができたことが良かったと思います。皆さん実際の遺物を興味深そうに観察していました。自分たちの住む地域に長い歴史があることを実感できたのではないかと思います。

勾玉は皆さん集中して取り組んでいましたが、なかなか思うような形に削ることが出来ず、苦勞する場面もありました。それでも楽しみながら取り組んでくれました。やや時間不足で、もう少し余裕を持って進行できれば良かったです。